



アマゾン民族館特別企画

3/12(土) 永武ひかる 講演会

写真家、ワンダーアイズプロジェクト代表

「森に聴く from アマゾン」

講師の永武さんは、90年代は主にアマゾンなど南米をフィールドに撮影取材、アマゾンの国際協力などNGO活動にも携わってきました。2000年より、子どもたちが写真を写す非営利の写真プロジェクト「ワンダーアイズ」をスタート。世界各地で写真ワークショップを行ない、多数の写真展を企画、開催しています。アマゾンに関する書籍も多数。アマゾン流域の多様な自然、先住民族の暮らしや文化、シャーマン、自然破壊や開発などについて、貴重な写真映像を見ながら一緒に考えてみましょう。

日時 平成23年
3月12日(土) 10:30~12:00

会場 出羽庄内国際村ホール

当日は、講演会もアマゾン民族館入館も無料。

同時開催 永武ひかる 写真展

出羽庄内国際村ホールで、永武さんが撮影したアマゾンの写真展示を行います。

◆ 日程 / 3月9日(水)~3月13日(日) **入場無料**
◆ 時間 / 10:00~16:00

フレンドシップサロン

2/26(土)

日本と北欧の森林文化



今回のフレンドシップサロン ゲストスピーカーは、庄内森林管理署の庄司友治さんです。北欧を中心とした国々と日本の森林文化の実情を比較し、日本の伝統文化の継承と環境問題をどのように両立させるのかなどお話していただきます。

- ◆ ゲストスピーカー / 庄司友治氏 (庄内森林管理署 流域管理調整官)
- ◆ 日 時 / 平成23年2月26日(土) 19:00~20:00
- ◆ 会 場 / 国際村1階交流サロン「ふるさと」
- ◆ 参加費 / 無料 ※ただし飲み物代は別



あとがき

今年の冬は、1月半ばからの寒波により大雪に見舞われ、気温も低い日が続き、北国の冬の気象の厳しさを改めて思い知らされた気がします。

さて、いよいよ2月、春の訪れが待ち遠しい季節になりましたが、本号では、昨年の秋に庄内森林管理署様からのご厚意で実施した「庄内の自然を知ろう」現地見学会というイベントを紹介させていただいております。日本語教室の皆さんにお声をかけ実施したのですが、皆さんからは大変有意義に、そして楽しく行事に参加していただきました。

このような事業を実施できるのも関係の皆様のご厚意、ご支援があつてのことで改めて感謝を申し上げます。あと二月で新しい年度が始まりますが、今年もどうぞよろしくお願いします。

ホストファミリーになってみませんか?

出羽庄内国際村では、外国からの訪問団や留学生のホストファミリーとなつていただけるご家庭の登録を随時行っています。ホームステイの目的の一つは、日本の日常生活を通して交流を深めること。普段の生活を一緒に過ごすのが一番のおもてなしです。国際村に登録いただくと、外国からの訪問団が来た際などにはがきやEメールなどでご連絡差し上げます。

受け入れをしていただく場合、通常は食費や交通費相当分をお支払いします。各ご家庭、状況は様々ですので、細かい点についてはその都度ご相談いたします。日常生活の中で異文化交流をしてみませんか。興味のある方は、ぜひ国際村事務局までお問合せください。

平成23年2月1日発行

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



「庄内の自然を知ろう！」見学会



国際村だより もくじ

- P 2 : 出羽庄内国際村音楽祭2010
- P 3 : 庄内の自然を知ろう！
寿司をにぎって食べよう！
- P 4 : せかいの台所
- P 5 : 中国語一日実践講座・器の会
- P 6 : 英語交流クラブ会員募集
コロラドスタディツアー参加者募集
キッズ英会話
- P 7 : これからの事業
英語特別講座Everyday English
楊式太極拳・春からの外国語講座
- P 8 : アマゾン民族館特別企画 講演会



アマゾン民族館

世界の民族と文化 好評開催中

開館時間 9:00~17:00

毎週土曜日は、小・中学生入館無料!

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 55

Quarterly

出羽庄内国際村音楽祭2010

モンゴルの風にのせて ～モンゴル民族音楽コンサート～



毎年、民族音楽や世界の楽器を紹介している国際村音楽祭。今回は中央アジアのモンゴル国。1人で高低2つの音を同時に歌うホーミーをはじめ、広大な草原を風のように力強く響き渡る独特な音楽です。去る9月18日に4人の演奏者を招き、国際村ホールを会場にコンサートを行いました。

コンサートの様子

今年の国際村音楽祭は、モンゴル国に古くから伝わる民族楽器のモリン・ホール（馬頭琴）、ヨーチン、ショッタルガ、リンベ（横笛）、口琴と、独特な歌唱法のホーミーの歌で、力強くそして叙情的に音楽を楽しんでいただきました。

また、演奏の前に、曲についての説明、楽器の由来や造りなどの説明があり、それぞれの情景を思い浮かべることができたことと思います。

モンゴル国の音楽は曲中でテンポが変わったりするので、合奏では風景などの移ろいを感じて、また、独奏やホーミーでは楽器の持つ独特な調べや想いを聴き入ることができたのではないのでしょうか。

好評！モンゴル料理



開演前に、ロビーで代表的なモンゴル料理「ゴリルテイ・シュル（スープうどん）」の販売が行われました。

これは牛肉と野菜をベースにしたスープにうどんを入れて食べるもの。また同じ場所で、「スーテイ・ツァイ」というミルク

入りの薄い塩味のお茶もふるまわれました。どちらもモンゴルでは日常的なものだそうです。

市内の羽黒高等学校と鶴岡工業高等専門学校には、モンゴルから数人の留学生が来ています。料理の試作や当日の調理の際には、留学生の皆さんから何度も味見をしてもらい、できるだけ本場の味に近づけるようにしました。留学生たちにとっては故郷で食べなれた懐かしい味だったようです。

音楽とともに普段あまり味わうことのないモンゴルの味に触れることができました。

小学校でワークショップを行いました

市内小学校では、今回の演奏者のサウガゲレルさんと山本敦子さんによるワークショップを開催しました。

訪問したのは湯野浜小学校と上郷小学校の二校。全校児童を前に民族衣装で登場した二人は、モンゴルの伝統楽器の紹介や曲を次々と披露しました。サウガゲレルさんと笛を吹く競争をした児童は、まるで息づきをしていないような独特の演奏方法に驚いていました。

また、モンゴルが舞台のお話『スーホの白い馬』で有名なモリン・ホールの演奏方法を教わったりと、子どもたちは広い大地で生まれたいろいろな楽器を体験し、モンゴルへの思いを馳せていたようです。



実行委員長より

庄内では珍しいモンゴル音楽のコンサート開催に不安がありましたが、157名の入場があり、チケットをお預かりいただいた実行委員、運営にご協力いただいたボランティア、コンサートにおいでくださった皆様に感謝いたします。また、おいでくださった方から賞賛の言葉をいただくこともでき、本当にうれしく思います。

初めて聴く生のモンゴル音楽は、モリン・ホール（馬頭琴）には迫力がありまし、ホーミーの声には驚かされました。モンゴルの広大な草原や遙か遠くに続く地平線、ゴビ砂漠…生で見たいと思いました。（古川浩明）

「庄内の自然を知ろう！」現地見学会

9月26日(日)に在住外国出身者を対象とした「庄内の自然を知ろう！～庄内海岸の森林環境を守る活動～」現地見学会が行われました。今回の見学会は庄内森林管理署と出羽庄内国際村（財団と日本語教室）が共催、山形県庄内支



庁森林管理課が協賛で行われました。初めての開催でしたが、17名の定員は申込み開始後まもなくいっぱいになり、キャンセル待ちの状態になりました。当日はいい天気にも恵まれ、大変楽しく充実した見学会となりました。

午前中は、酒田市光ヶ丘、酒田北港海浜公園展望台で万里の松原と海岸林を見学し、午後は鳥海山大平山荘、胴腹の滝に行つて庄内海岸砂防林全景を見学、鳥海山の湧水もいただきました。

今回の庄内海岸林の見学会は参加者の皆さんにとって初めての経験で、黒松林などの海岸林について大変勉強になりました。

このいい機会を与えてくださり、当日は丁寧に案内していただいた庄内森林管理署及び山形県庄内支庁森林管理課のスタッフの皆さんにお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



日本語教室担当者より

地域の自然環境に興味を持つ良い機会を与えていただき心から感謝しています。日本語教室の学習者は特定のボランティア（指導者）と屋内での学習が主であるため、屋外で全く別の方からの日本語を聞くことができ、いわゆる通常の会話の実践編として貴重な事業だったと思います。できれば来年度以降も続けていただければありがたいです。

参加者の皆さんより

- 日曜日の見学会はとても楽しかったです。色々な話を聞いてとても感動しました。長さ34キロの黒松林が全部人間が一本一本植えたものだ聞いた時とても驚きました。信じられませんでした。私は大自然を見て感動しました。機会があれば私も自分の手で黒松を植えたいと思います。
- 森林管理局の皆さんのおかげで黒松林を見学することができました、本当に素晴らしいと思います。
- スタッフたちの指導がとても熱心でした。ありがとうございました。
- 森林の大切さがわかりました。
- 黒松林を守る人たちの大変さがわかりました。



寿司をにぎって食べよう！

平成22年11月28日(日)

今年で3回目となる寿司作りのイベント「寿司をにぎって食べよう！」が、11月28日(日)に行われました。

このイベントは国際村の日本語教室が主体となって企画、教室の学習者や庄内在住の外国出身者を対象に年に一度行われています。鶴岡の寿司処「三幸」の店主、川上祐士さんが直々に寿司の握り方について教えてくださるという事で、毎年大人気のイベントです。

この日握ったのは、巻物3種（きゅうり、玉子、柴葉漬け）と握り4種（まぐろ、サーモン、エビ、イカ）。最初に巻物から始めたのですが、皆さん「まきす」の使い方に苦戦！なかなか上手く巻けず、具がはみ出し

たり細くなったりと様々な形の巻物に。それでも川上さんの指導を受けながら何本か作っていくうちにきれいに巻けるようになりました。握りのシャリも、手にとる量と固さ加減が難しかったようです。

自分で握った寿司をカメラで撮影してから「いただきます！」。握るのは大変でしたが、やはり自分で握った寿司の味は格別だったようです。



川上さんから握り方を教わる。



自分で握った寿司のお味は？

せかいの台所 8月～2月

8月の台所は「ブラジル料理」。サンパウロ州出身の佐藤メイリさんとパラナ州出身の佐藤ジュリアさんに豆の煮込み料理のフェジョン カゼイロ、ワインソースのステーキ、ケール炒め、カラフルなゼラチンデザート



の4品を教えてくださいました。

ブラジル料理といえば豆と肉！フェジョンカゼイロは毎日食べる定番メニュー

ブラジル料理

で、これを食べると二人とも元気になれるそうです。青汁の材料、ケールはビタミン豊富な野菜。青汁と聞くと苦そうですが、炒めると美味しいのです。イメージしたものとは違って、ボリューム満点でありながら栄養バランスも良いブラジル料理。講師二人のまぶしい笑顔も、こういった食事がエネルギーとなっているのかもしれない。



10月の台所は「アメリカ料理」。講師はニューヨーク出身のギャビン・グリーンさん。アメリカならではのボリュームたっぷりのハンバーガー、ガーリックマッシュポテト、悪魔の卵、チキンコルドンブルーの4品



を教えていただきました。

ハンバーガーはラード入りのギャビンさんオリジナルの味。牛肉100%で作るパ

アメリカ料理

テは、大変ボリュームがありました。参加者の皆さんに人気だったのが、フランス料理が元になっているチキンコルドンブルー。チキンをカナヅチで一枚一枚叩き伸ばす作業は、まるで工作をしているようでしたが、味は格別！ご馳走と呼べる一品です。これらの料理をアメリカの炭酸飲料「ルートビア」でいただきました。



12月の台所は「中国料理」。中国東北地方ハルビン出身の菅原里華さんに、寒い季節に温まるような料理を教えてくださいました。豚の脂が口の中でほろっと



溶ける紅焼肉（角煮）、ジャガイモとナスとピーマンを炒めた地三鮮、中国で広く食べられているジャガイモの千切りサラダ、ほうれん草と卵のスープの4品です。

中国料理

とにかく、何を食べてもおいしい一言でした。鶴岡で紅焼肉の豚の皮付き肉を探すのには少し苦労しますが、それ以外は身近な食材を使用しています。特に地三鮮は、普段よく使用する野菜で、ホクホクした素材の旨さが味わえる一品ができるので、皆さんにも大好評！さっそく晩御飯のおかず



平成22年度最後のせかいの台所は「韓国料理」。講師は韓国・仁川出身の岡部明子さんです。韓国が誇る栄養食のサムゲタンを教えてくださいました。サムゲタンは、鶏肉に高麗人参、ナツメ、もち米などを詰めて煮込んだ料理です。定員は10名、申込みは1月22日(土)から開始していますが、興味のある方はお問合せ下さい。



●日時：2月19日(土) 午前10時～午後1時

平成23年度 せかいの台所 年間会員 10名募集

来年度の「せかいの台所」の年間会員を募集します。偶数月に一回、土曜日から日曜日に料理教室を行います。

【会費】年会費10,000円（賛助会員費3,000円を含む）

【会員期間】入会日から平成24年の3月31日まで

【定員】10名 【申込み】3月5日(土) 9時より受付

会費には、6回の料理教室の参加費が含まれています。外国語講座等も1割引となりますので大変お得です。

10/3
SUN

中国語一日実践講座



ホテルのフロントの様子

この講座も今年で5回目。皆さんの中国語への熱い要望にこたえ、今年も内容を深め、開催しました。今回の参加者は12名。初、中級レベルの方から、長年勉強を続けている上級レベルの方など、様々な方が参加しました。

今年も昨年と同様に、中国の国内でいろいろな活動をするを想定した「体験型学習」を実施。ちょうど今年開催された上海万博に合わせ、参加者が上海へ渡航するという設定で、市内での買い物や茶房での注文などを体験しました。



茶房での様子

昨年参加して慣れている人は、自分から積極的に話しかけ、例えば「ホテルの部屋が水漏れしたので、宿泊料を安くして！」など、本当にそこでハプニングが起こっ

ているかのように会話を楽しんでいました。

午後からは、午前中に学んだことを発表したり、中国語で自己紹介したりなど、勉強した成果を披露しました。また日本人が中国語を学ぶときに、どういった方法で学ぶのが効果的かなど、実際に中国語をマスターした日本人の先生からレクチャーを受けました。

この様なシミュレーション型の講座は参加者の皆さんにも好評でしたので、来年度もまた内容を新たに実施したいと思います。



ショッピングの様子



日本文化
体験講座

器の会～秋編～ 2010.11.21



「器の会」では、国際村で日本語を学ぶ学習者の皆さんを対象に、春と秋の年2回、旬の食材を使った庄内の「家庭の味」を教えてくださいました。参加者の出身国は毎回様々ですが、普段は自国の料理を作り、なかなか庄内の家庭の味を作る機会も食べる機会もない方が多いので、とても好評の料理教室です。

今回の器の会では、秋の食材をふんだんに使った品々を作りました。きのこご飯、鮭の甘酢あんかけ、かき玉汁、白菜と薄揚げのうま煮、デザートのいちじくの甘露煮の5品です。特にきのこご飯は、炊飯器で

さっと簡単に作れ、味も美味しいと好評でした。

器の会は“料理を作りながらの日本語教室”でもあるので、教えてくださいました先生も日本語で教え、作りながら食材、調味料、調理器具や調理法についての日本語も学びます。今回は「みりん」について、原料は何か？酒とどう違うのか？何の為に使うのか？等の質問が多く出ました。

今回初めて顔を合わせた参加者は、最初は少し緊張感が見られましたが、作業が進むにつれ和気あいあいとした雰囲気になっていきました。

次回の器の会は、来年春の予定です。春に味わう庄内の家庭の味を学びましょう。



平成23年度 英語交流クラブメンバー募集!

このクラブでは、英語に興味のある中高校生が月に1回集まって、様々な活動をしています。今までは、海外からの訪問団との交流や、ビデオレターをアメリカの高校へ送るなどの活動をしてきました。来年度は、姉妹州県のアメリカ・コロラド州との交流をさらに深めていけるような活動を考えています。



11月の例会の様子

活きた英語を学べるだけでなく、海外にお友達を作ることでもあります。英語が好きな方、交流の輪を世界に広めたい方は、ぜひメンバーになって、一緒に活動しませんか? 詳しくは国際村へお問い合わせください!



12月の例会の様子

また、今年も「コロラドスタディツアー」を予定しています! 中高生の皆さん、夏休みをアメリカで過ごしてみませんか?

今年も行きます!

中高生 社会人 コロラドスタディツアー

国際村では3年前から、山形県と姉妹州である、アメリカ・コロラド州へのスタディツアーを実施しています。

去年は中高生3名、社会人3名が、12日間(社会人は9日間)滞在し、ロッキー山脈のふもとで、雄大な自然に囲まれながら、素晴らしい時間を過ごしてきました。

このツアーは、ほぼ毎日様々な活動を行うプログラムになっています。ロッキー山脈へのハイキングや乗馬体験、コミュニティカレッジでの英語の授業など、内容は盛りだくさんです。そして、このツアーの最大の魅力は、全泊ホームステイをして、アメリカでの実際の生活を体験できること。通常のツアーではなかなか体験できません! 今年は姉妹州25周年の記念の年。充実した夏を過ごしてみませんか。

ご興味のある方は、ぜひ国際村までお問い合わせください。



ブルー湖へのハイキング



平成22年度 出羽庄内国際村外国語講座 キッズ英会話 を紹介します。

早いもので、昨年度の冬に企画した「ピーター先生のキッズ英会話」から約一年が経ちました。この時受講した子ども達を含め、小学1年生から6年生までの6人が、現在も仲良く講座を受講しています。

Aコースは小学1年生から3年生、Bコースは4年生から6年生と2クラスに分かれて講座を行っています。

講師はどちらもピーター・アリスマ先生。ゲームを交えながら優しく教えてくれますが、声が小さかったりすると、厳しいチェックが入る場合も。気が抜けません!

今回は、A Bコース合同で行った講座での風景を紹介します。

10月27日にはハロウィンにちなんだゲーム“アップル・ポッピング”と、ピーター先生が用意してくれた大きなカボチャを使ったランタン作りに挑戦しました。

そして最後は、リングをキ



ャラメルでコーティングして、甘くてすっぱいデザートを作りました。

12月8日にはクリスマス

の授業をしました。はじめに、国際村のクリスマスツリーに全員で飾りつけをしました。最初はちょっとバラバラな感じでしたが、最後はみんなきれいに飾って記念撮影。続いてクリスマスカード作りをしました。英語の勉強をしつつ、手元に神経も集中。最後に、誰にカードをあげるかを決めて完成させました。

キッズ英会話も3期目に入りました。現在小学4年生から6年生までのBコースは受講者が少なめですので、更に募集しています。中学に進級する直前のこの時期に少しでも英語に慣れるよう、英語を体験してみませんか? 途中からの受講でも構いません。ぜひお問い合わせください。



出羽庄内国際村 でわしょうないてくさいむら DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM

このコーナーは、出羽庄内国際村の事業や募集などをお知らせするページです。詳しくは、出羽庄内国際村事務局にお問合わせください。

2/27(日)

出羽庄内国際村 英語特別講座

エブリディ イングリッシュ Everyday English



この冬、英語講座の特別講座として「Everyday English (エブリディ イングリッシュ)」を開催することになりました。

以前から、レベルに関係なくみんなが楽しく学べる企画はないものかと検討していましたが、ようやく実現します。

言語は違いますが、同じような体験型の中国語実践講座を過去5回開講しており、様々なレベルの方に好評をいただいております。中国語と同じように、この特別講座は、いろいろなレベルの方々が実践的な英語に触れるきっかけになるでしょう。

特別講座の協力者は、国際村が主催している講座キッズ英会話・初心者英会話・レベルアップ中級英会話・かんばせーしょん喫茶店・英語交流クラブを担当している講師の方々7名です。もちろんネイティブスピーカーですので、発音から表現まで“生きた英語”を学ぶことができます。

この講座は、空港やホテルなどを想定して、シミュレ

ーション体験をしながら学ぶ講座です。「勉強はしているけどネイティブスピーカーと話す機会がない」「自分の英語が実際に伝わるのか不安だ」という方も、自分の力を試すチャンスです。講座の最初に基本会話の練習をする時間がありますので、初心者の方でも安心して参加することができます。皆様の参加申込みをお待ちしております。

- ◆日にち：2011年2月27日(日)
- ◆時 間：13:00～17:00 (受付開始12:30)
- ◆場 所：国際村 1階ホール
- ◆対 象：高校生以上 (レベルは問いません)
- ◆参加費：2,000円
 - *賛助会員の方は割引。会員証をお持ちください。
- ◆定 員：先着20名
- ◆持ち物：筆記用具、辞書
- ◆申込み受付期間：2月5日(土)～2月20日(日)
 - *事前準備がありますので、必ず期間内にお申込みください。

春からの 平成23年度 文化体験講座 楊式太極拳講座

今では定番になった文化体験講座の「楊式太極拳講座」。今年度より2時間コースとなり、様々なレベルの方々に対応できるよう工夫をしてきました。現在は9名の方々が受講されています。早いもので、後期講座終了の3月まであとわずかになりました。

引き続き来年度4月からの楊式太極拳講座受講者を募集します。講師の都合で、開講曜日が火曜日から金曜日に変わります。続けて受講される方も新しく始める方も、これから予定を立ててみませんか?

- ◆講 師：覃 莉莉 氏 (上海出身)
- ◆日 時：2011年4/1(金)～2012年3/23(金)
 - 全36回コース 19:00～21:00
- ◆場 所：国際村 1階ホールほか
- ◆対 象：初心者・経験者問わず受講できます。
- ◆受講料：前期/4～9月
 - 18回…16,200円
- 後期/10～3月
 - 18回…16,200円
- ◆服 装：運動に適した服装
 - *受講者5名より開講



講師の覃さん

春からの 平成23年度 出羽庄内国際村 外国語講座

「外国語が話せるようになりたい」と思っている方も受講する最初の一步が踏み出せずにいる皆さん! 国際村の外国語講座を一度体験・見学してみませんか。どのコースも一回無料で体験・見学できるので、どのレベルが自分に適しているのかが確認できます。

新年度も英語・中国語・韓国語・ロシア語の4言語を予定しています。また、短期講座や特別講座も企画していきたいと考えていますので、今後も国際村から発信される情報をお見逃しなく。

中国語講座より



キッズ英会話より